<独自の InstallShield 前提条件を作成する>

注)このドキュメントは、InstallShield 2014 Premier Edition を基に作成しています。InstallShield 2014 以外のバージョン では設定名などが異なる場合もあります。

<u>概要</u>

InstallShield 前提条件は、製品が必要とする他製品やテクノロジ・フレームワークをインストールするための機能を 提供しています。InstallShield があらかじめ提供している前提条件には、各バージョンの .NET Framework、Visual C++ Redistributable および SQL Server Express(英語版) などがありますが、これらを追加するだけでなく、独自 の InstallShield 前提条件を作成して、プロジェクトに追加することもできます。

この記事では、InstallShield で提供されていない製品を前提条件でインストールするために、独自の InstallShield 前提条件を作成する方法を紹介します。

InstallShield 前提条件の新規作成

新しいInstallShield 前提条件を作成して、プロジェクトに追加します。今回は、例として「Microsoft SQL Server 2014 Express (x64)」の日本語版をインストールするための前提条件を作成します。

※デフォルトで用意されている前提条件「Microsoft SQL Server 2014 Express(x64)」は英語版モジュールです

1. 前提条件で実行するファイルをあらかじめローカルに保存しておきます ここでは、以下よりダウンロードした「SQLEXPR_x64_JPN.exe」を「C:¥My Program」に配置しておきます

参考: 「Microsoft® SQL Server® 2014 Express(日本語版)のダウンロード http://www.microsoft.com/ja-jp/download/details.aspx?id=42299

- 2. [ツール]メニューから[前提条件エディタ]を起動します
- 3. [プロパティ]タブを表示します

[InstallShield 前提条件の固有のID] は前提条件を識別するためのIDとなります。デフォルトでは、自動的に GUID が振られますので、このまま使用します

81	* MySetupPrerequisite.prq - InstallShield 前提条件エディター 🗧 🗖
ファイル(F) ヘルプ(H)	
プロパティ 条件	含めるファイル 実行するアプリケーション 動作 依存関係
InstallShield 前	提条件の固有のID(U):
{1321D4EF-38	EE-44E0-9F0F-B3CEB9101A98}
前提条件ファイルを	とダウンロードする際、.prq をダウンロードするための別の場所(A):
	これは通常空白のままです。 詳細はヘルプをご覧下さい。
説明(D):	
説明(D):	^
説明(D):	^
說明(D):	^
説明(D):	∧
説明(D):	
説明(D):	

4. [条件]タブを表示して、[追加]ボタンをクリックし、以下の設定を行います

条件の種類

・レジストリエントリが指定のバージョンを含む

プロパティ

- ・確認するレジストリキー名を指定します:
- HKEY_LOCAL_MACHINE¥SOFTWARE¥Microsoft¥MicrosoftSQL Server¥SQLEXPRESS¥MSSQLServer¥CurrentVersion
- ・確認するレジストリの値名を指定します : CurrentVersion
- ・確認するレジストリの値データを指定します: 12.0.2000.8
- ・以下の場合に前提条件を実行します : ターゲットシステム上のデータが指定されたデータよりも小さい
- ・ 64 ビット システムで次のレジストリの場所を確認する : 64ビット

	前提条件設	定		X
条件の種類を選択します:				
○レジストリキーの存在の有無(R)				
◯ レジストリ エントリが指定の値を含め	b(V)			
◉ レジストリ エントリが指定のパージョン	ンを含む(S)			
)ファイルの存在の有無(!)				
○ 特定の日付をもつファイルが存在す	·ක(D)			
○特定のパージョンをもつファイルが存り	在する(C)			
○ セットアップが指定のプラットフォーム	ょ上で実行されている(P)			
ว้อเทิรา				
確認するレジストリキー名を指定します	#(K):			
EY_LOCAL_MACHINE\SOFT	WARE\Microsoft\Microsoft SQL S	erver\SQLEXPRESS\MSSQLSe	erver\CurrentVer	sion
	(例: HKEY_LOCA	L_MACHINE\SOFTWARE\Inst	allShield\Expres	s .0)
暗認するレジストリの値名を指定します	(例: HKEY_LOC4 t(N):	AL_MACHINE\SOFTWARE\Insta	allShield\Expres	s .0)
ー ー 確認するレジストリの値名を指定します CurrentVersion	(ng): HKEY_LOC/ F(N):	AL_MACHINE\SOFTWARE\Insta	allShield\Expres	s .0)
ー ー 確認するレジストリの値名を指定します CurrentVersion	(mg:HKEY_LOC/ t(N):	AL_MACHINE\SOFTWARE\Insta	allShield\Expres (例: MyV)	s .0) alue)
確認するレジストリの値名を指定します CurrentVersion 確認するレジストリの値データを指定し	()99):HKEY_LOC/ t(N): ∉tr(F):	AL_MACHINE\SOFTWARE\Insta	allShield\Expres (例: MyV-	s .0) alue)
確認するレジストリの値名を指定します CurrentVersion 確認するレジストリの値データを指定し 12.0.2000.8	(例:HKEY_LOC/ h(N): ます(F):	AL_MACHINE\SOFTWARE\Insta	allShield\Expres (例: MyV	s .0) alue)
確認するレジストリの値名を指定します CurrentVersion 確認するレジストリの値データを指定し 12.0.2000.8	()99):HKEY_LOC4 t(N): ∉taf(F):	AL_MACHINE\SOFTWARE\Insta	allShield\Expres (kng): MyV. (kng): MyV	s .0) alue))ata)
確認するレジストリの値名を指定します CurrentVersion 確認するレジストリの値データを指定し 12.0.2000.8 以下の場合に前提条件を実行します」	(អ្វ):HKEY_LOC4 t(N): 	AL_MACHINE\SOFTWARE\Insta	allShield\Expres (kngl: MyV. (kngl: MyE	s .0) alue))ata)
確認するレジストリの値名を指定します CurrentVersion 確認するレジストリの値データを指定し 12.0.2000.8 以下の場合に前提条件を実行します(ターゲット システム上のデータが指定さ	(例: HKEY_LOC/ t(N): ます(F): (T): :れたデータよりも小さい	AL_MACHINE\SOFTWARE\Inst	allShield\Expres (kn): MyV. (kn): MyE	sl.0) alue))ata)
確認するレジストリの値名を指定します CurrentVersion 確認するレジストリの値データを指定し 12.0.2000.8 以下の場合に前提条件を実行します(ターゲット システム上のデータが指定さ 64 ビット システムこ次のレジストリの	(例: HKEY_LOC/ t(N): ます(F): (T): :れたデータよりも小さい 場所を確認する:	AL_MACHINE\SOFTWARE\Inst	allShield\Expres (My: MyV) (My: MyE	s .0) alue))ata)
確認するレジストリの値名を指定します CurrentVersion 確認するレジストリの値データを指定し 12.0.2000.8 以下の場合に前提条件を実行します ターゲット システム上のデータが指定を - 64 ビット システムで次のレジストリの 〇 デフォルト(D)	(例: HKEY_LOC/ t(N): ます(F): (T): :れたデータよりも小さい 場所を確認する: ○ 32 ビット(3)	AL_MACHINE\SOFTWARE\Insta @ 64 ניטאר(6)	allShield\Expres (kn): MyV- (kn): MyE	sl.0) alue) Data)
確認するレジストリの値名を指定します CurrentVersion 確認するレジストリの値データを指定し 12.0.2000.8 以下の場合に前提条件を実行します(ターゲット システム上のデータが指定を - 64 ビット システムで次のレジストリの 〇 デフォルト(D)	(例: HKEY_LOC/ f(N): ます(F): (T): れたデータよりも小さい 場所を確認する: 〇 32 ピット(3)	AL_MACHINE\SOFTWARE\Insta @ 64 ピット(6)	allShield\Expres (kng): MyV. (kng): MyE	s .0) alue) 0ata)
確認するレジストリの値名を指定します CurrentVersion 確認するレジストリの値データを指定し 12.0.2000.8 以下の場合に前提案件を実行します(ターゲット システム上のデータが指定さ - 64 ビット システムで次のレジストリの ○ デフォルト(D)	(例:HKEY_LOC/ f(N): ます(F): (T): :れたデータよりも小さい 場所を確認する: ○ 32 ビット(3)	ա∟_MACHINE\SOFTWARE\Insta (© 64 է՞ット(6)	allShield\Expres (kng: MyV) (kng: MyD	s .0) alue) Jata)

その他、OS の実行条件など、必要に応じて設定を行います。

参考)

種類	データ
レジストリ エントリが特定のバージョン値を含む ユーザーが特定の OS を実行中	HKEY_LOCAL_MACHINE¥SOFTWARE¥Microsoft¥Microsoft SQL Ser Windows 7/Windows Server 2008 R2 64-bit (x64)
ユーザーが特定の OS を実行中	Windows 8/Windows Server 2012 64-bit (x64) Windows 8 1/Windows Server 2012 82 (x64)

- 5. [含めるファイル]タブを表示して、[追加]ボタンをクリックし、Microsoft SQL Server 2014 Express (x64) 日本語 版のファイルを指定します
 - ファイル: C:¥My Program¥SQLEXPR_x64_JPN.exe

ファイルの新規作成
前提条件に含める各ファイルについて)次の情報を入力します ファイルは MD5 チェックサムが生成されるよう、実際このコンピューターに存在する必要 があります。
ファイル(F):
C+My Program+SQLEXPR_x64_JPN.exe
(例: c:¥Windows¥Notepad.exe)
ファイルへの URL(U):
(例: http://www.mywebsite.com/Folder1/Notepad.exe)
OK キャンセル

6. [実行するアプリケーション]タブを表示して、以下の設定を行います

起動するアプリケーションを指定してください。 :SQLEXPR_x64_JPN.exe Windows Installer エンジンおよび/または .NET Framework を最初にインストールする必要がある :チェックする

セットアップがサイレントモードで実行するときのアプリ :/q /HIDECONSOLE ケーションのコマンドラインを指定してください。

😼 * MySetupPrerequisite.prq - InstallShield 前提条件エディター	- • ×
ファイル(F) ヘルプ(H)	
プロパティ 条件 含めるファイル 実行するアプリケーション 動作 依存関係	
. 起動するアプリケーションを指定してください。(S)	
SQLEXPR_x64_JPN.exe	~
☑ Windows Installer エンジンおよび/または .NET Framework を最初にインストールする必要がある(R)	
アプリケーションのコマンドラインを指定してください。(P)	
セットアップがサイレント モードで実行するときのアプリケーションのコマンドラインを指定してください。(C)	
/q /HIDECONSOLE	
再起動が必要な場合、アプリケーションが戻すコードを指定してください(十進法)。(E)	
複数のリターン コードは、コンマで区切って指定することができます。例、1046,3010。	

7. [動作]タブを表示して、以下の設定を行います

前提条件は管理者権限を必要とする

前提条件をインストールした後も、その前提条件のインストールがまだ条件で要求された場合

前提条件が再起動を必要としているように見える場合

:Setup.exe を終了して、コンピューターの再起動 後に再開する

:セットアップを続行するかどうかを確認する

:チェックする

* MySetupPrerequisite.prq - InstallShield 前提条件エディター	- 🗆 🗙
ファイル(F) ヘルプ(H)	
プロパティ 条件 含めるファイル 実行するアプリケーション 動作 依存関係	
☑ 前提条件は管理者権限を必要とする	
□ ユーザーは前提条件をオプションでスキップすることができる	
□ 前提条件をインストール一覧に表示しない	
□ 前提条件のウィンドウに進行状況を表示する (未加工の MSI ファイルのみ)	
前提条件をインストールした後も、その前提条件のインストールがまだ条件で要求された場合(I):	
セットアップを続行するかどうかを確認する	~
前提条件が再起動を必要としているように見える場合(R):	
Setup.exe を終了して、コンピューターの再起動後に再開する	~

8. [依存関係]タブを表示して、[追加]ボタンをクリックし、以下の.prq ファイルを追加します

<InstallShield Program Files フォルダ>¥SetupPrerequisites¥Microsoft .NET Framework 4.0 Full.prq ※Microsoft SQL Server 2014 Express は、Micorosoft .NET Framework 4.0 が必須要件となります

🞐 * Microsoft SQL Server 2014 Express Japanese(x64).prq - InstallShield 前 🗧 🗖 🗙
ファイル(F) ヘルプ(H)
プロパティ 条件 含めるファイル 実行するアプリケーション 動作 依存関係
この前提条件よりも前にインストールする必要がある InstallShield 前提条件 (.prq) ファイルの名前を指定します。
依存關係
<isproductfolder>¥SetupPrerequisites¥Microsoft .NET Framework 4.0 Full.prq</isproductfolder>
追加(A) 変更(M) 削除(R)

9. [ファイル]メニューから[名前を付けて保存]を選択し、以下のフォルダに保存します

保存先: <InstallShield Program Files フォルダ>¥ SetupPrerequisites

例)InstallShield 2014 の場合 C:¥Program Files¥InstallShield¥2014¥SetupPrerequisites

名前: Microsoft SQL Server 2014 Express Japanese(x64).prq

※ここで指定した名前で、[再配布可能ファイル]ビューにリストされます

91	名前を付けて保存		×
🛞 🏵 🔹 🕇 퉬 « 201	l4 → SetupPrereq → v C Set	upPrerequisitesの検索	,c
整理 マ 新しいフォルダー			0
◆ お気に入り ^	名前	更新日時	種類 ^
	Microsoft SQL Server 2012 Express	2013/10/01 7:54	PRQ 🕽
デスクトップ	Microsoft SQL Server 2012 Express	2013/10/01 7:54	PRQ 🕽
1月 最近表示した場所	Microsoft SQL Server 2012 Express	2013/10/01 7:54	PRQ 🕽
	Microsoft SQL Server 2012 Express	2013/10/01 7:53	PRQ 🕽
■ デスクトップ	Microsoft SQL Server 2012 Native Cl	2013/08/20 10:30	PRQ 🕽
ペ ホームグループ	Microsoft SQL Server 2012 Native Cl	2013/08/20 10:30	PRQ 🕽
admin	Microsoft SQL Server 2014 Express J	2014/09/09 17:26	PRQ 🗇
PC	Microsoft SQL Server 2014 Express	2014/04/15 15:42	PRQ 🕽
🍃 ライブラリ	Microsoft SQL Server 2014 Express	2014/04/15 16:11	PRQ 🕽
👊 ネットワーク	Microsoft SQL Server 2014 Express	2014/04/15 15:53	prq 🤈 🗸
□ントロール パネル × ·	<		>
ファイル名(N): Micros	oft SQL Server 2014 Express Japanese(x64).	prq	~
ファイルの種類(T): Install	Shield 前提条件 (*.prq)		~
● フォルダーの非表示		保存(S) キャン	tu

InstallShield 前提条件の追加

- [アプリケーションデータ]-[再配布可能ファイル]ビューを表示します
 InstallScript プロジェクトの場合には、[前提条件]ビューを表示します
- 2. 上部の[更新]ボタンをクリックして、情報を更新します

 +	□ □ □	4	検索グリッド	0	
70	シューには マイミ	テルが	ちわませく		

3. 上部[検索グリッド]に、キーワード"SQL Server 2014"と入力し、作成した前提条件がリストに表示されたら、 チェックを入れます

前提条件: Microsoft SQL Server 2014 Express Japanese(x64).

	🗄 🗉 🗔 🚰 🗲 SQL Server 2014 🛛 🖉			
	このビューにはアイテムがありません。			
	☑ 🗅 名前	バージョン	タイプ	場所
I	☑ Microsoft SQL Server 2014 Express Japanese(x64)	1.0	InstallShield 前提条件	ローカルにインストール
11	🗌 📰 Microsoft SQL Server 2014 Express RTM (x64)	1.0	InstallShield 前提条件	ダウンロードの必要あり
	🗌 📰 Microsoft SQL Server 2014 Express RTM (x86 & x64Wow)	1.0	InstallShield 前提条件	ダウンロードの必要あり
	🗌 📰 Microsoft SQL Server 2014 Express RTM (x86)	1.0	InstallShield 前提条件	ダウンロードの必要あり
	🗌 📰 Microsoft SQL Server 2014 Express RTM LocalDB (x64)	1.0	InstallShield 前提条件	ダウンロードの必要あり
	🗌 🚰 Microsoft SQL Server 2014 Express RTM LocalDB (x86)	1.0	InstallShield 前提条件	ダウンロードの必要あり

4. [リリース]ビューでリリースをビルドします。

「InstallShield 前提条件」パネルで、前提条件の場所を指定できます。 単一の setup.exe として前提条件も含めたい場合には [前提条件をSetup.exeから抽出する]を選択します。 また、非圧縮形式の場合には、[ソースメディアからコピーする]もしくは[Setup.exeから抽出する]を選択します

5. インストーラを実行します。Microsoft SQL Server 2014 Express がインストールされていない環境では、最初 に前提条件が表示されます

CustomePrereqTest - InstallShield Wizard
CustomePrereqTestをコンピュータにインストールするには、以下のアイテムが必要です。「インストール」をクリックして、これらの要件のインストールを開始します。
ステータス要件
待機中 Microsoft SQL Server 2014 Express Japanese(x64)
受インストール キャンセル

[インストール]ボタンをクリックすると、ファイルの展開後 Microsoft SQL Server 2014 のセットアップ画面が表示されます。



19 C	CustomePrereqTest - InstallShield Wizard
শ	CustomePrereqTest用のInstallShield ウィザードへようこそ
	InstallShield(R) ウィザードは、ご使用のコンピュータへ CustomePrereqTest をインストールします。「次へ」をクリックし て、続行してください。
	警告: このプログラムは、著作権法および国際協定によって保護 されています。
< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル	

このように独自の前提条件を作成・追加することで、製品のインストールに必要な関連モジュール(製品)のインスト ールも含めて、インストーラを配布することができます。